

□ ■ タイの天然ゴム産業：世界をリードする生産国の現状と未来展望 ■ □



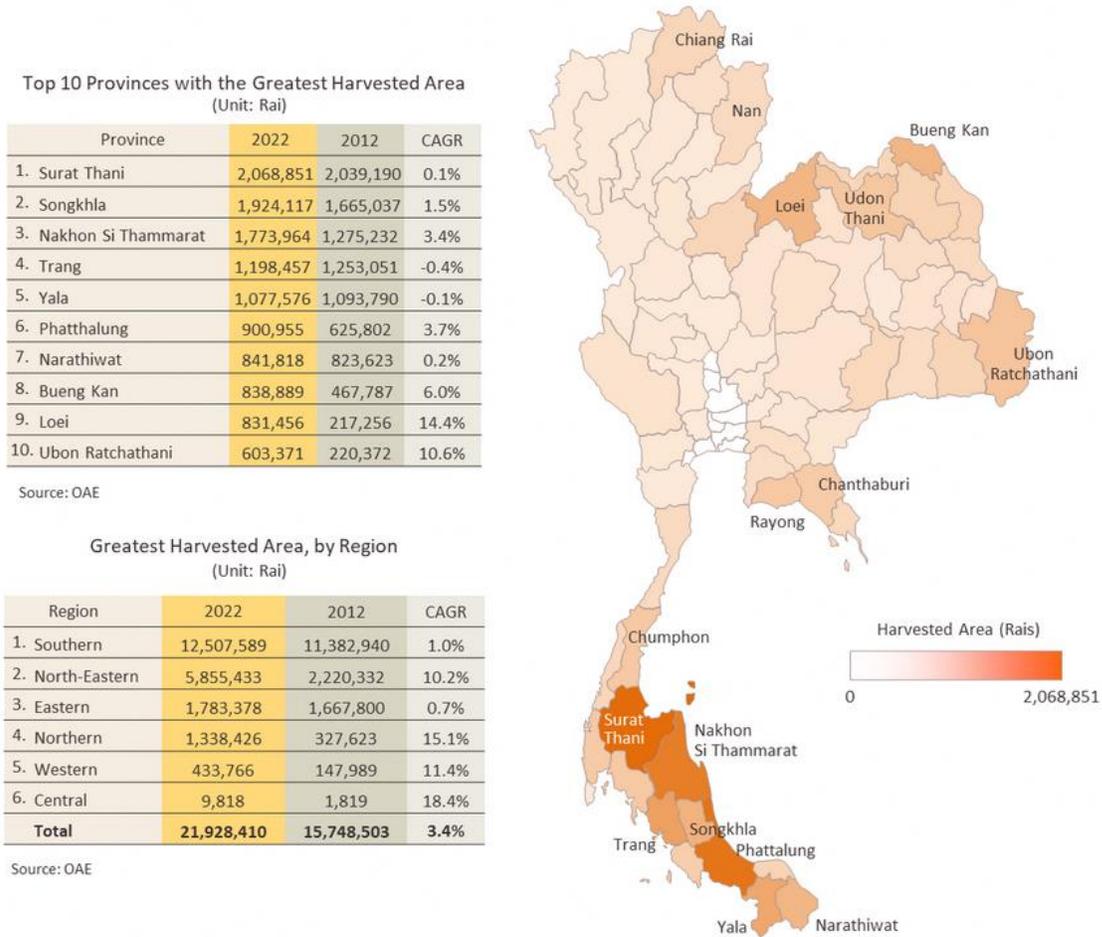
ヨコハマ社のタイヤ

出典：ヨコハマ

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、グラフです。

タイは長年にわたり、世界最大の天然ゴム生産国としての地位を確立してきました。この地位を築くまでに至ったのは、タイの地理的条件と産業政策の成功が大きな要因です。特に南部地域の気候と土壌がゴムの木の栽培に適していることが、タイの天然ゴム産業の強固な基盤となっています。

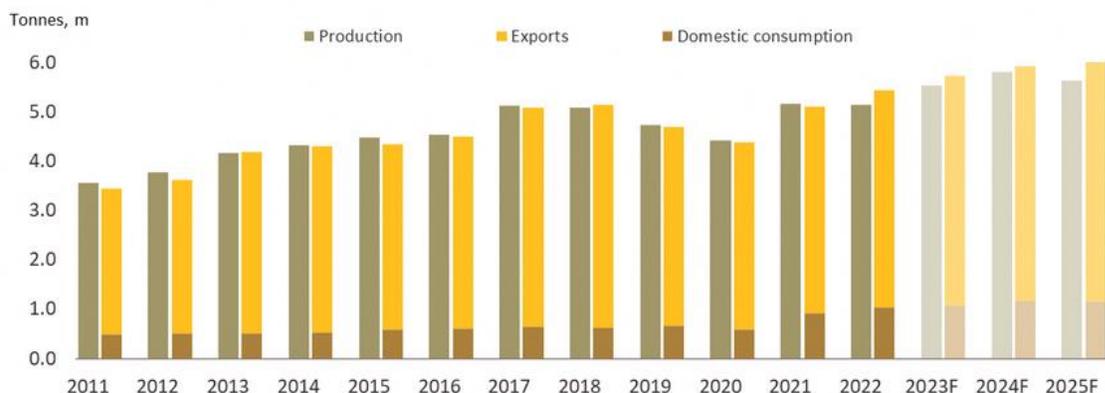
Figure 11: Rubber Tapping Areas in Thailand (2022)



タイのゴム採取地域（2022年）

2022年のタイの天然ゴム生産量は480万トンに達し、世界全体の34%を占めました。この圧倒的な生産量を背景に、タイは世界第2位のタイヤ輸出国となり、その輸出額は2,310億バーツ（約8,800億円）に上りました。さらに、タイは医療用ゴム手袋の主要生産国としても知られており、この分野でも世界市場で重要な位置を占めています。

Figure 12: Thailand Natural Rubber Production, Consumption and Exports



Source: OAE, DOA, MOC, Krungsri Research

タイの天然ゴムの生産、消費、輸出

タイの天然ゴム産業の強みは、高品質な製品を競争力のある価格で提供できる点にあります。この強みを活かし、ブリヂストン、ヨコハマタイヤ、住友ゴムといった日本のタイヤメーカーをはじめ、ミシュラン、グッドイヤー、マキンスなどの世界的なブランドがタイに生産拠点を設けています。これらの企業がタイを選択する理由は、単に原材料の調達が可能であるだけでなく、タイの労働力の質の高さや、政府の外国投資に対する支援策なども挙げられます。

No	マーク	企業名	国	資本金 (パーツ)
1		GOODYEAR (THAILAND) PUBLIC COMPANY LIMITED	アメリカ	7,400 万
2		Sumitomo Rubber (Thailand) Co., Ltd.	日本	140 億
3		DEESTONE INTERNATIONAL CO., LTD.	タイ	6 億
4		THAI BRIDGESTONE CO., LTD.	日本	4 億
5		MAXXIS INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.	台湾	65 億
6		Vee Rubber Co., Ltd.	タイ	9,500 万
7		OTANI TYRE CO., LTD.	タイ	5 億
8		Yokohama Tire Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.	日本	58.8 億

9		MICHELIN SIAM CO., LTD.	フランス	54 億
10		SIAM RUBBER CO., LTD.	タイ	12 億
11		S. R. TYRES CO., LTD.	タイ	17 億
12		HIHERO CO., LTD.	タイ	3.5 億

タイ国内のタイヤ製造工場

2023 年から 2025 年にかけて、タイのゴム産業はさらなる成長が見込まれています。この成長予測の背景には、以下の通りいくつかの要因があります：

1. 生産面の改善：栽培面積の拡大、気候条件の改善、農家の生産技術向上などにより、生産量の増加が予想されています。タイ政府も、ゴム農家への支援策を強化しており、これが生産性向上に寄与することが期待されています。
2. 競合国の状況：インドネシアやマレーシアといった主要な競合国は、労働力不足や病害虫の問題により完全な回復には至っていません。これにより、タイの市場シェアが拡大する可能性があります。
3. 需要の増加：自動車産業（特に電気自動車）、医療用品、建設業などの成長により、天然ゴムの需要の押し上げが予測されています。特に、世界的な環境意識の高まりによる電気自動車市場の拡大は、タイヤ需要の増加につながると見られています。
4. 価格競争力：世界的な原油価格の高騰により、合成ゴムに比べて天然ゴムの価格競争力が高まっています。これにより、多くの製造業者が天然ゴムの使用を増やす傾向にあります。
5. 医療分野での需要：高齢化社会の進展や、新型コロナウイルスのパンデミック後の衛生意識の高まりにより、医療用ゴム製品の需要が増加しています。

以上の要因から、今後のタイのゴム輸出量は年間 3.5%から 4.5%の成長が見込まれています。特に、中国、アメリカ、日本、欧州などの主要市場での需要増加が、この成長を牽引すると予測されています。

その一方で、タイのゴム産業はいくつかの課題にも直面しています。

1. 競争の激化：CLMV 諸国（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム）でのゴム生産が拡大しており、特に中国企業による投資が増加しています。これらの国々との競争が激化する可能性があります。
2. 非関税障壁：世界各国で環境規制や品質基準が厳格化されており、これらの非関税障壁（NTBs）への対応が求められています。
3. 気候変動：地球温暖化の影響により、ゴムの生産に適した地域が変化する可能性があります。長期的には、生産地域の移動や新たな栽培技術の導入が必要になるかもしれません。
4. 価格変動：天然ゴムの価格は国際市場の影響を受けやすく、急激な価格変動がゴム農家の収入に影響を与える可能性があります。

これらの課題に対応しつつ、持続可能な成長を実現することが、タイのゴム産業の今後の鍵となるでしょう。タイ政府は、これらの課題に対して以下のような対策を講じています：

1. 研究開発の強化：新品種の開発や生産性向上のための技術革新に投資をしています。
2. 付加価値の創出：単なる原材料供給国から、高付加価値製品の生産国への転換を図っています。
3. 持続可能性の推進：環境に配慮した生産方法の導入や、小規模農家の支援などを通じた、産業の持続可能性を高めています。
4. 国際協力の強化：他のゴム生産国との協力を通じて、価格の安定化や市場の拡大を目指しています。

タイの天然ゴムは、タイヤや医療用手袋以外にも、自動車部品、建設資材、スポーツ用品など、多岐にわたる製品に使用されています。ゴムを主原料とする製品の製造業者にとって、タイに生産拠点を設けることは生産コスト削減の有効な戦略となり得ます。さらに、タイの充実したサプライチェーンや熟練労働力の存在も、外国企業にとって魅力的な要素となっています。

世界最大の天然ゴム生産国としてのタイの地位は、今後も世界の製造業において重要な役割を果たすでしょう。環境への配慮や持続可能性への取り組みを強化しつつ、技術革新と市場ニーズへの適応を続けることで、タイの天然ゴム産業は更なる発展の可能性を秘めています。グローバル経済の変動や新たな技術の台頭

など、様々な変化に直面する中で、タイのゴム産業が如何にして競争力を維持し、成長を続けていくのか、今後の展開が注目されます。

参考：<https://www.krungsri.com/th/research/industry/industry-outlook/agriculture/rubber/io/rubber-2023-2025>

## ◆◆タイの首相交代と最大野党前進党の解党による影響◆◆

日本でも報道されている通り、8月7日にタイの憲法裁判所により民主派の最大野党「前進党」に解党命令が下され、その1週間後の14日には同じく憲法裁判所によりセター首相が解職を命じられ、政治的な混乱が心配されています。今回は首相交代と前進党解党による影響についてお伝えします。

### 【現在のバンコク市内の治安状況】

コロナ禍の2020年10月、当時の軍政や王室制度に対するデモ集会が数万人規模の大きな集会に発展し、治安当局が強制排除に乗り出す事態となりましたが、今回は今のところ大規模な抗議集会などは起きていません。しかし、今後の情勢によっては大規模なデモ集会に発展する可能性もゼロではありませんので、タイへ渡航される際は最新情報の入手に努めてください。

### 【最大野党「前進党」の解党】

昨年5月に行われた総選挙では、選挙前の「タクシン元首相派のタイ貢献党が第一党、革新的政策を掲げる前進党が僅差で第二党となる」という予想を覆し、前進党が151議席（下院定数500議席）で第一党、タイ貢献党が141議席で第二党という結果となりました。この2つの党が主導して連立政権が生まれ、前進党のピター党首が首相に指名されると見られていましたが、親軍部派が大半を占める上院と連立政権内での影響力低下を危惧したタイ貢献党が連立政権の枠組みから前進党の排除に動いたため、前進党は下院で最大議席を持ちながらも野党となりました。首相にはタイ貢献党のセター氏が就任し、以前は対立関係にあったタクシン派と親軍勢力が手を組むという歪な形の政権発足となりました。この政局にはタイの有権者、特に若年層から失望の声が多く上がりましたが、前進党の人気は依然として高く、ピター党首の今後が期待されていました。

そんな中、前進党が選挙公約に掲げた改革案の中にあつた「不敬罪の緩和」などを憲法裁判所が問題視し、国王を元首とする体制の転覆につながり得るものだと解党を命じ、元党首のピター氏と党の幹部10人に10年間の政治活動を禁止する判決が下されました。前進党の解党後、前進党の残された幹部は新たに



前進党解党を報じるタイメディア  
画像引用：[matichonweekly.com](https://www.matichonweekly.com)

「人民党」を設立し、次回 2027 年の選挙に向けて立候補者育成を始めています。現在同党には一般市民からの寄付は寄せられており、寄付金額は既に 2,500 万バーツを超えていると見られ、支持者の意識も抗議活動から人民党への支援に切り替わってきていると思われます。

### 【セター首相解任の影響】

セター首相は今年 4 月に行った内閣改造の人事で、タクシン氏に近い人物を首相府相に登用しましたが、この人物が過去にタクシン氏の汚職疑惑をめぐる裁判で弁護士を務めた際に、担当判事に対する贈賄罪で禁固刑を受けた過去があることが問題視され、憲法裁判所から「憲法に定められた倫理規定に反する行為を行った」として首相の解職を命じる判決が下され、セター首相は同日付で失職しました。この裏には、2006 年のクーデターで失脚して以降、長年にわたり海外逃亡生活を続け、セター首相就任後に帰国し、その後恩赦を受け再び政界への影響力を見せはじめたタクシン氏をけん制する動きと見られています。

これら憲法裁判所の一連の動きは、過去にも繰り返されてきた“司法によるクーデター”という声も多くあがっており、憲法裁判所に強い影響力を持つ親軍保守派に対する不満が高まっています。

### 【タクシン元首相の次女パートンタン氏の首相就任】

セター首相の解任後、タイ貢献党の党首でタクシン元首相の次女パートンタン氏が第 31 代の首相に選出されました。女性の首相就任は、パートンタン氏の叔母（タクシン元首相の妹）のインラック元首相に続いて 2 人目、37 歳での首相就任はタイ史上最年少での就任となります。専門家の間では「タクシン元首相という強い後ろ盾があるため、安定的な政権運営のためには無難な人選」という声がある一方、「司法の介入により、セター首相やかつてのタクシン元首相、インラック元首相と同じ結末を辿るのではないかと保守派や進軍勢力による巻き返しを心配する声もあり、現時点では見通しが分かれています。



パートンタン新首相の就任式

画像引用 : [thaipbs.or.th](http://thaipbs.or.th)

タイの世論調査機関「スーパーポール」が 8 月 16 日～17 日に実施した緊急調査(回答者 1,054 人)によると、パートンタン氏の首相就任について「支持する」が 46.1%、「支持しない」が 26.4%となっており、「支持する」が 20 ポイントほど高い結果となっています。「新政権に期待する政策」の調査では、物価高や電気代値上げによる生活費高騰の改善を求める声が 74.1%とずば抜けて高く、経済対策が新政権の支持率向上のカギと思われます。その背景には、首相時代に積極的な経済政策で安定的な経済成長を遂げたタクシン元

タイの世論調査機関「スーパーポール」が 8 月 16 日～17 日に実施した緊急調査(回答者 1,054 人)によると、パートンタン氏の首相就任について「支持する」が 46.1%、「支持しない」が 26.4%となっており、「支持する」が 20 ポイントほど高い結果となっています。「新政権に期待する政策」の調査では、物価高や電気代値上げによる生活費高騰の改善を求める声が 74.1%とずば抜けて高く、経済対策が新政権の支持率向上のカギと思われます。その背景には、首相時代に積極的な経済政策で安定的な経済成長を遂げたタクシン元

首相の政策への関与に対する期待も見え隠れしますが、そんな中、8月22日に開催されたイベントに出席したタクシン元首相は演説の中でタイ経済に対するビジョンを述べ、政府に対して14項目の経済政策を提案するなど、早くも「影の首相」としての存在感を示しました。

タイの経済はコロナ後、国の基幹産業である製造業、観光業ともに回復が遅れており、本格的な回復のためにも政治の安定が求められています。ペートンタン首相に大学受験時の不正疑惑や不動産取引に関する汚職疑惑が浮上するなど、早くもその足元が揺らいでいます。「すねの傷」を攻撃されて、またしても首相の座を追われるのか、または元首相である父の強い影響力、指導力を上手に使いながら安定した政権運営ができるのか、新政権の今後が気になるところです。

## □ ■タイにおけるスムージーのブーム■ □



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、バンブーです。

タイのスムージーは、暑い日に飲む冷たい飲み物という域を超えて、健康的なライフスタイルの一部となっています。健康管理に対する意識の向上やオーガニック食材への関心の高まりから、長くタイで親しまれてきたスムージーですが、最近急速に人気を集めています。

このトレンドから、屋台から高級カフェまで、スムージーを提供する店舗が全国的に増えています。さらに各店舗で栄養価の高い野菜や果物をブレンドした新メニューの開

発が進んでいます。例えば、ホウレンソウと様々な果物を使ったグリーンスムージーや、デトックス効果を謳ったスムージーなどが登場しています。健康志向が高まる市場に適用する形で、スムージーのマーケティングも進化しています。

消費者は砂糖不使用のスムージーや、チアシードやスピルリナといったスーパーフードをトッピングでき、栄養価を高めると同時に、メニューの差別化が図られています。多くの外国ブランドがタイに進出し、強固な顧客基盤を築いていますが、一方で地元のタイブランドも急速に成長し、この競争の激しい市場で成功を収めています。

それでは、今タイで注目されているスムージーブランドを見ていきましょう。

### 【タイで人気な外国ブランドのスムージーショップ】

**Jamba Juice:** アメリカ発のスムージーブランドである Jamba Juice は世界中に店舗を展開しています。新鮮なフルーツと高品質な原材料を使用したメニューが豊富で、健康志向の若者に特に人気です。販売価格帯は 110～180 バーツです。Jamba Juice では、以下のような多彩なメニューを提供しています。

- スムージー (Smoothies): フルーツや野菜を主な原材料としたスムージーで、クラシックなレシピから新しいブレンドまで様々なバリエーションがあります。
- ボウル (Bowls): アサイー、グラノーラ、新鮮なフルーツなどを組み合わせたボウルメニューです。
- ジュース (Juices): フルーツ 100%のフレッシュなジュースです。
- ショット (Shots): フルーツやハーブを濃縮して抽出したジュースショットです。
- ブースト (Boosts): プロテイン、ビタミン、ハーブなどを加えた健康志向のドリンクです。



**Boost Juice:** オーストラリア発の Boost Juice は、タイ市場にまたたく間に浸透しました。新鮮な果物を使用した創造的なメニューと、魅力的なプロモーションが多くのリピーターを惹きつけています。販売価格帯は 100~180 バーツです。Boost Juice では、以下のメニューを提供しています。



- スムージー (Smoothies): 新鮮なフルーツや健康志向の素材を使用したスムージーで、ベジタブルフルーツスムージー、プロテインスムージー、ダイエットスムージーなどがあります。
- ジュース (Juices): 添加物なしの 100%フルーツジュースです。
- クラッシュ (Crushes): 新鮮なフルーツとクラッシュアイスを組み合わせた、リフレッシュメントドリンクです。
- プロテインボール (Protein Balls): ナッツ、穀物、ドライフルーツなど自然な素材を使用したプロテインスナックです。

**Mango Tango:** タイで非常に人気のあるブランドで、その起源は台湾にあります。このブランドは、新鮮で高品質なマンゴーを使用したドリンクやデザートを提供しています。販売価格帯は 80～250 バーツです。同店で提供されているメニュー以下の通りです。

- マンゴージェート (Mango Dessert): マンゴーを使ったデザートで、マンゴースティッキーライス、マンゴースムージー、マンゴージェリーなどがあります。
- マンゴースムージー (Mango Smoothies): マンゴーをベースにしたスムージーで、純粋なマンゴースムージーや他のフルーツをブレンドしたのがあります。
- マンゴーアイスクリーム (Mango Ice Cream): マンゴーアイスクリームで、そのまま提供されるものやトッピングを加えたのがあります。
- マンゴードリンク (Mango Drinks): マンゴーを使った飲み物で、マンゴージュースやマンゴースーダなどが含まれます。



### 【地元タイブランドのスムージーショップ】

外国ブランドだけでなく、タイの地元ブランドも市場での存在感を増しています。特に、Oh! Juice と Luggaw は、健康志向の消費者や地元の製品を支持する顧客に大変人気があります。

**Oh! Juice :** オーガニックサラダや健康メニューで有名な「OHKAJHU」レストランから分岐したスムージーブランドです。元々スムージーは OHKAJHU レストランで人気のある飲み物でした。そこでオーナーは新たなブランド展開のアイデアを思いつきました。これにより、スムージーを提供する店舗の拡張がより迅速に進むとともに、顧客がブランドの製品にアクセスする頻度も増すことが期待されています。

Oh! Juice のスムージーは、「No Hack, No Sugar Added」というコンセプトのもと、100%フルーツを使用し、砂糖は含まれていません。健康を重視し、鮮度が高く、添加物を使用せず、チアシード、アサイー、アボカド、ブルー・マジック<sup>※</sup>などのスーパーフードを加えた商品を提供しています。これにより、健康志向の現代の消費者のニーズに応えています。

※ ブルー・マジック（Blue Majik）とは、ブルースピルリナから作られた青い藻の粉で、抗酸化作用や抗炎症作用があります。体に良い栄養素を含み、毒素を排出するものです。

2024年9月現在、Oh Juice は4店舗を展開しており、主なメニューは以下の通りです。

- JUICES：氷を使わずに抽出したフルーツジュース
- GREEN BOOSTER：野菜とフルーツのスムージー
- GET PROTEIN：プロテインスムージー
- SIGNATURE：Oh Juice のスペシャルメニュー
- OH ACAI：アサイーを使ったメニュー



一般的なスムージーは 85~160 バーツで販売されていますが、SIGNATURE メニューは 180~270 バーツと少し高めの価格設定がされています。以下、2つの Signature メニューを紹介します。

### ① ANGEL'S SECRET

ストロベリー、アーモンドミルク、アボカド、ココナッツ、パイナップル、デーツ、ドラゴンフルーツ、オーガニックメープルシロップ、ストロベリーチアシードジャム（砂糖不使用）、コラーゲン 4,000mg、マルチバランスプロテイン、アセロラチェリー-VitC+ブースター



### ② OCEAN N EARTH

アーモンドミルク、ココナッツヨーグルト、フレッシュココナッツ、ブルー・マジック、アボカド、デーツ、バナナ、パイナップル、アーモンドバター、コラーゲン 4,000mg



**Luggaw** : 現代的なコンセプトを掲げ、現在のスムージーブームの前からビジネスを展開してきました。2022年に設立された同ブランドのオーナーは、国内で人気のデザート店「アフターユー（After You）」の創設者です。主な目的は、タイのショッピングモールには本格的なフルーツ店が少ないため、「ショッピングモールでタイフルーツが買える」という戦略のもと、ヘルスケア市場にアプローチし、より多様なフルーツを提供することです。また、地元産のフルーツの価値を高め、健康メニューとして提供することで、タイ市場に参入する他国ブランドのスムージーと差別化、競争力を高めることを目指しています。



Luggaw は、フレッシュフルーツ、フルーツミックス、フルーツサラダ、スムージー、コールドプレスジュースなどの多彩なフルーツメニューを提供しています。タイの農家との良好な関係を築くことで、高品質なフルーツの供給源を確保しています。これにより、地元産の高品質で多様な旬のフルーツを販売できるのです。

2024年9月現在、Luggaw は国内で9店舗を展開しており、スムージーの価格は79～105バーツです。メニューには以下のようなユニークな名前のスムージーがあります。

- 「今日の幸せ」：季節のフルーツ5種のスムージー
- 「視野が広い」：黄色いフルーツのみを使ったスムージー
- 「千年の長寿」：緑色のフルーツのみを使ったスムージー
- 「ヒロインのジュース」：複数のオレンジとオレンジの果肉を加えたスムージー
- 「心の傷を癒す」：新鮮な唐辛子やライムの果肉を加えたパイナップルベースのスムージー
- 「子供の顔で生まれる」：複数種類のリンゴをミックスしたスムージー
- 「最も美しい路地」：パッションフルーツ、パイナップル、熟したマンゴーにタピオカを加えたスムージー
- 「良い夢を見る」：ぶどう、洋梨、リンゴにアロエベラゼリーをトッピングしたスムージー





【最後に】

Oh! Juice と Luggaw は、高品質で新鮮な原材料を使用したスムージーを提供することで、健康志向の消費者のニーズに応えています。どちらのブランドも、タイのスムージー市場で急速に名を馳せ、これからの市場のさらなる成長が期待されています。今後はさらに、環境に優しい包装の使用や、持続可能な農業からの原材料の使用を推進するなど、持続可能性に焦点を当てた製品が求められることが予測されます。

スムージーは健康と環境保護を重視するライフスタイルという近年のトレンドに沿って、これまで以上にタイの人々の日常生活の中で欠かせないものとなっています。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

担当：柴田 隼介 Shunsuke Shibata

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

▶ タイ経済指標

項目	単位	2021	2022	2023	2024
GDP 成長率	前年比ベ (%)	1.8	2.7	1.9	2.0 (6月)
人口*	千人	68,161	69,922	70,104	70,196 (6月)
労働者の数*	千人	38,631	40,143	40,674	40,437 (7月)
失業率**	%	1.94	1.32	0.98	1.05 (7月)
最低賃金* バンコク	パーツ/日	331	353	353	363
チョンブリー		336	354	354	361
アユタヤー		325	343	343	350
ラヨン		335	354	354	361
賃金：全国製造業の平均	パーツ	13,506	14,305	14,416	14,331 (6月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	1.24	6.08	1.23	0.06 (1月)
中央銀行政策金利*	%	0.50	1.25	2.50	2.50 (8月)
普通貯金率**	%	0.25	0.28	0.40	0.43 (7月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.42	5.50	6.83	7.17 (7月)
SET 指数*	1975年：100	1,657.62	1,668.66	1,415.85	1,359.07 (8月)
パーツ/100 円**	パーツ	29.15	26.78	24.82	23.70 (8月)
パーツ/米ドル**	パーツ	31.98	35.06	34.80	36.02 (8月)
円/米ドル**	円	109.8	131.38	144.07	146.23 (8月)
車販売台数 (1月からの累計)	台数	736,716	856,057	702,921	357,679 (7月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,572	1,554	2,383	1,451 (6月)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億パーツ	511.9	618.62	750.12	476.27 (6月)

\*期末、\*\*平均